

## 【参考資料2】

# 大火からの復興に向けたまちづくり調査結果

- ①市内事業者、関係者等へのヒアリング ..... P 1－ 4  
対象:15企業、団体
- ②市内在住者へのアンケート調査 ..... P 5－13  
対象:406人
- ③来訪者インターネット調査 ..... P14－22  
対象:200人



**【参考資料】**  
**関係者へのヒアリング**

# 商業、建設、金融などの市内事業者等の15企業・団体の関係者にヒアリングを実施しました

## ヒアリング実施概要

- **実施日、実施場所**  
平成29年11月6日、9日、15日(計3日) 糸魚川商工会議所
- **対象者**  
市内事業者等の15企業・団体の関係者(計15名)

	対象者		対象者
1	建設業関係者	9	商業関係者
2	製造業関係者	10	商業関係者
3	商業関係者	11	建設業関係者
4	サービス業関係者	12	建設業関係者
5	サービス業関係者	13	関係団体関係者
6	金融機関関係者	14	関係団体関係者
7	建設業関係者	15	関係団体関係者
8	商業関係者		

- **目的**  
復興まちづくりに深く関与されている関係者の意向を把握し、にぎわい創出の具体化に向けた検討材料とする
- **主なヒアリング内容**
  - ✓ エリア全体のまちづくりの方向性
  - ✓ 拠点施設に必要な機能
  - ✓ 市が想定する子育て・若者世代向け機能に関する見解

## 結果のまとめ

- ✓ 全体として、全員がほぼ同じ意見の項目と、意見が分かれる項目が顕著に表れた。
- ✓ **意見の相違が少ない項目として、次のものが挙げられる**
  - 大火前から駅北エリアが活力を失った状態にあるという認識
  - 駐車場の不足(特にイベント開催時)
  - 駅北エリアは高齢化が進んでおり居住する子育て・若者世代が極めて少ないこと
  - 商工会議所の拠点施設への移転に前向きであること
- ✓ **意見が分かれた項目として、次のものが挙げられる**
  - 集客のターゲット(市民、市外)
  - まちづくり及び拠点施設の方向性(居住・生活支援メイン、観光メイン、創業支援メイン等)
  - 市が打ち出している子育て機能に対する所見(前向き、中立、後ろ向き)
  - 拠点施設やエリアの運営のあり方(商工会議所が積極的に関与する、新たなまちづくり組織を立ち上げる等)
- ✓ 市が打ち出す子育て・若者支援のコンセプトに対しては、後ろ向きの意見も聞かれた。一方、**複数の対象者が、特に若者を対象とした創業支援や居住促進の必要性を認識**していた。官民の役割の違いに基づくアプローチの相違はあるものの、「若者世代」という対象に関しては、商工会議所内にも市の考え方に近い意見が多数存在することが確認された。
- ✓ 他方で、**観光機能を求める意見も多数聞かれた**。その要因として、大火前からの当該エリアの衰退の状況から、市内需要のみでにぎわいを創出するのは困難との認識がうかがえる。

# まちづくり及び拠点施設の方向性(居住・生活支援メイン、観光メイン、創業支援メイン等)について関係者の意見が分かれていました

## ヒアリング結果(1/2)

論点	主な意見		
<p>まちづくりの方向性</p>	<p><u>子育て、交流【市民】がメインのまち</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若者・子育て世代が住めるようにし、商店街やまち全体の活気を取り戻すことが重要</li> <li>■ 現在の居住者の大半である高齢者の買い物難民化を防ぐ必要がある</li> <li>■ 若者向けの住宅があるとよい。そのための課題は駐車スペースの確保</li> <li>■ 観光を否定はしないが、まず地道に地元の人が行き交うまちにするための努力をしないと、観光客も来ない</li> <li>■ 交流人口の増加は重要だが、全国的な競争も激しく大幅な増加の可能性は低い。そのため、まずは市民が集うまちや施設を目指すべき</li> <li>■ ビジネス的な機能よりも市民生活のためのシンボルとなる施設にしてほしい</li> </ul>	<p><u>交流【観光客】が訪れるまち</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交流人口を増やしたい。海望施設を魅力あるものにするのとセットで観光客が訪れるエリアにしたい</li> <li>■ 長野県や群馬県からの観光客は糸魚川の海の景観に大きな魅力を感じるため、ポテンシャルは大きい</li> <li>■ 市民の集客だけだと大火前のような衰退の状況から変わらないのでは</li> <li>■ 日常的な買い物需要は既存のスーパーやホームセンターで足りており、同じ機能を持ってきても分散するだけ</li> <li>■ 8号線は結構な交通量があるので、観光施設があればちょっとした立ち寄りに伴う買い物需要が期待できる</li> <li>■ 駅ではなく8号線側を糸魚川の玄関口と考えるべき</li> </ul>	<p><u>その他の方向性【産業、教育・文化】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 創業支援(特に若者) <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 若者の創業支援の拠点とし、商工会議所が積極的にリードすべき</li> <li>➢ 商店が減る理由は店主の高齢化と跡継ぎの不在。1ターン者など創業意欲のある者と既存の店主をマッチングする等、商店街を継続・発展させる取組をまち全体で行うべき</li> <li>➢ 創業支援に力を入れ、市内だけでなく市外の若者の移住も期待したい</li> <li>➢ 若い人が活躍できるまちづくりを行いたい</li> </ul> </li> <li>■ 大学等の研究機関の拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大火の経験は全国的にも希少な研究対象でもある</li> </ul> </li> </ul>
<p>拠点施設に必要な機能</p>	<p><u>生活支援系機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若者向け住宅</li> <li>■ 高齢者リハビリ施設や主婦向けフィットネスなど平日の日中でも稼働が見込まれる機能</li> <li>■ 図書館</li> <li>■ 中高生の自習スペース</li> </ul>	<p><u>交流系機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 糸魚川の魅力である魚を買ったり食べたりできる店舗</li> <li>■ 温泉などの温浴施設</li> <li>■ ホテル</li> <li>■ 足湯やカフェなど、新幹線利用者の短時間の滞在需要に対応できる機能</li> </ul>	<p><u>その他機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベントスペース、仮設出店スペース</li> <li>■ 創業支援機能(チャレンジショップ等)</li> <li>■ 大学等の研究機関の研究拠点機能</li> <li>■ 行政の出先機関</li> <li>■ ヒスイ、相馬御風、紅梅文庫などを活用できるギャラリー、展示スペース</li> <li>■ 消防団施設、消火機能</li> </ul>

# 複数の対象者が、特に若者を対象とした創業支援や居住促進の必要性を認識していました

## ヒアリング結果(2/2)

論点	主な意見		
<p>市が想定する子育て・若者世代向け機能について</p>	<p><b>前向き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となり若者・子育て世代のコミュニティの場をつくることには賛成</li> <li>休日以外の施設の稼働を確保する観点から、子育て機能のように市民利用が見込まれる機能を入れることが妥当</li> </ul>	<p><b>中立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てだけでにぎわい創出は困難。図書館やカフェなど親和性のある機能と一体となつてにぎわいが生まれる</li> <li>子育てや若者といったキーワードが市から突然出てきたので、具体的な内容や集客可能性について懸念がある</li> <li>スペースに余裕があればよいのでは</li> </ul>	<p><b>消極的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若い人が少ない時代のターゲット設定として適切とは思えない。少なくともにぎわい創出にはつながらない</li> <li>糸魚川の顔となる場所なので、子育て機能のような他の場所でも構わない機能の必要性は低い</li> </ul>

論点	主な意見		
<p>その他の多かった意見</p>	<p><b>地域の魅力の活用・PR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糸魚川の最大の魅力は魚介類。駅北に観光客を案内できる飲食店や魚を買える場所がないのが残念</li> <li>ヒスイ、相馬御風、紅梅文庫など文化的なものを展示などで打ち出すべき</li> <li>相馬御風、糸魚川小唄などの伝統を大切にすべき</li> </ul>	<p><b>駐車場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市外から人を呼ぶには駐車場不足を解消する必要がある</li> <li>駐車場不足が深刻。イベント時に苦情が出るので開催に消極的になっていく</li> <li>駐車場は必要だが、商店街の回遊性を生むため拠点施設から少々離れた場所につくるべき</li> </ul>	<p><b>イベント開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアで常設の商売は厳しいのではないかと。イベントや一時的な出店スペースをつくり、開催頻度を増やすほうが現実的だと思う</li> <li>雨や雪が多い地域なので、イベントスペースに屋根は必須。にぎわい広場はこの点が課題である</li> </ul>
	<p><b>景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準耐火構造とする中でも糸魚川の玄関口にふさわしい景観を確保すべき</li> <li>費用はかさむが、あえて木材を多用することで、全国的にインパクトを残せるのではないかと</li> <li>古い街並みの景観に魅力を感じる観光客に来てほしい</li> </ul>	<p><b>拠点施設やエリアの運営組織</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商工会議所が拠点施設やにぎわい広場を活用したイベントを商店街と一体で企画し、拠点施設の管理も担いたい</li> <li>まちづくりの司令塔は商工会議所が担うべき</li> <li>新たに組織をつくり、地元の様々な主体が協力して運営するしかないのでは</li> </ul>	<p><b>商工会議所の拠点施設への移転</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地の活性化を図るという観点から、拠点施設への入居は市民の理解を得やすいと考えている</li> <li>人がよく出入りする施設なので、にぎわいも生まれてよいのではないかと</li> <li>資金に余裕がない中でこういった入居の仕方があるのか関心を持っている</li> </ul>

## **【参考資料】**

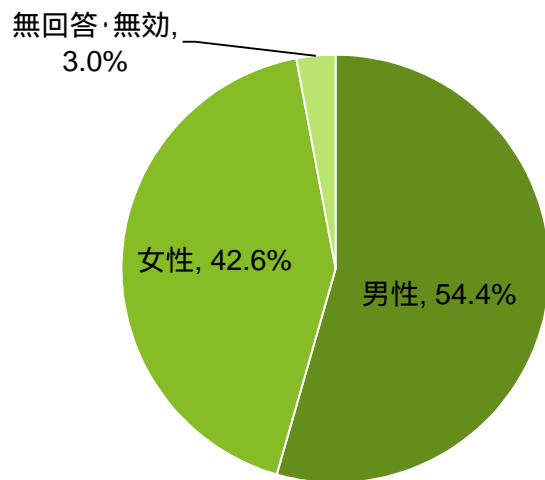
**来訪者や生活者の現況・ニーズ調査  
(アンケート調査:406名に実施)**

# 回答者の年代は40歳代が全体の約26%と最も多く、次に50歳代、60歳代の順に回答割合が高くなっています

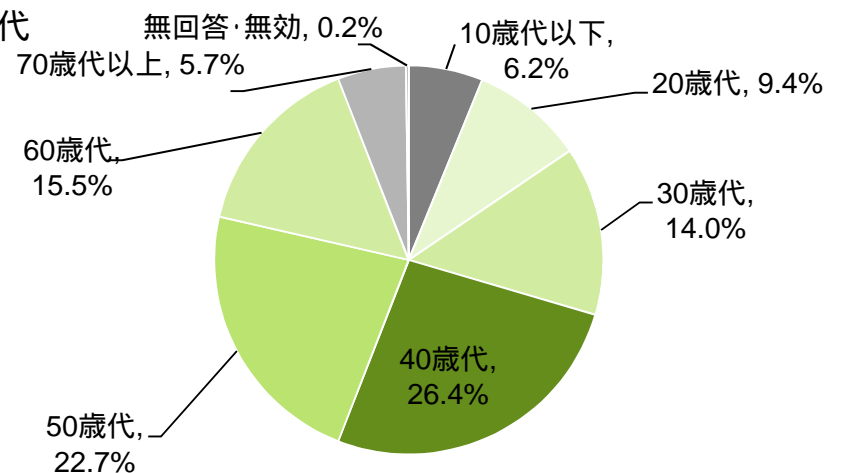
## アンケート調査の概要及び属性情報

- 実施日時： 平成29年12月24日~平成30年1月5日
- 調査方法： 郵送及びFAXにて回収
- 調査対象： 市内在住者
- 回答数： 406人

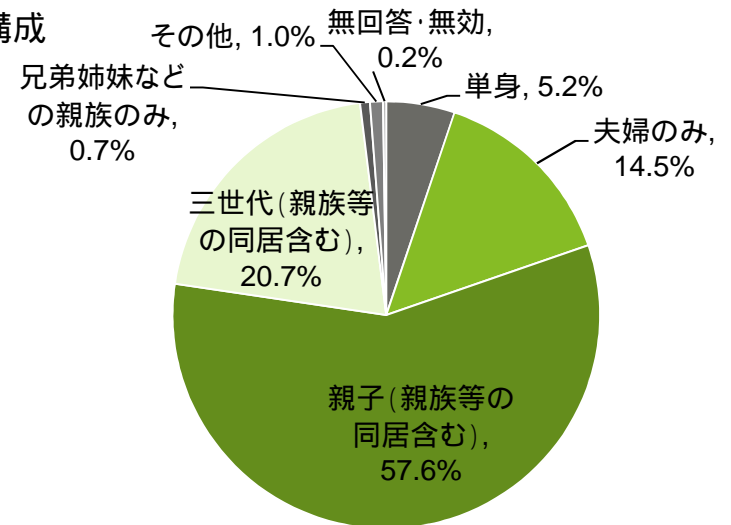
### 性別



### 年代



### 世帯構成



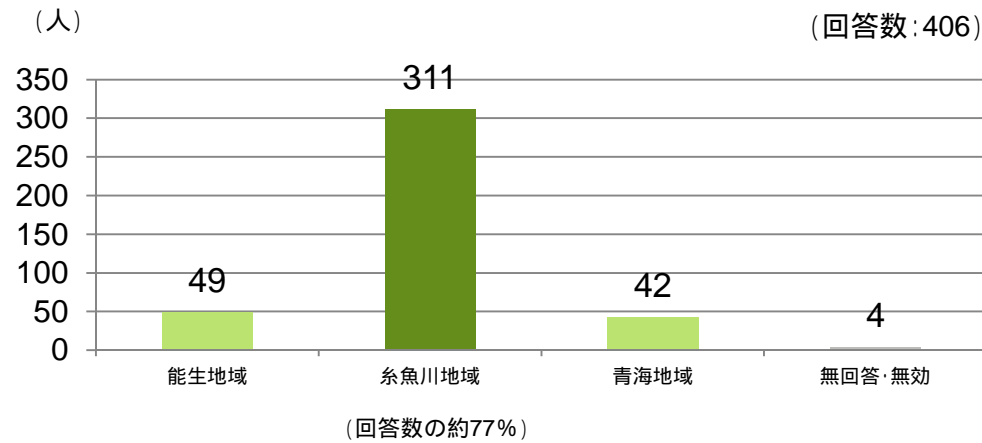


## 2.- 来訪者や生活者の現況・ニーズ調査(アンケート調査)(2)

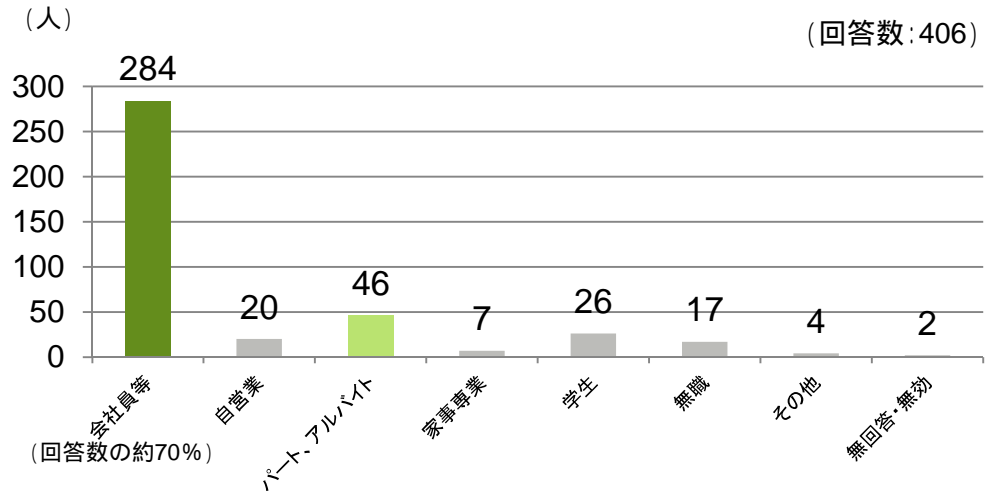
回答者の約77%は糸魚川地域に居住しており、職業別では約70%が会社員等になっています

### 属性情報

#### ■ 居住地



#### ■ 職業



## 駅北エリアに来訪する頻度が月に数回との回答が最も多く、1回あたりの滞在時間は30分未満との回答が最も多くなっている

### アンケート調査の結果のまとめ

#### ■ 回答者の属性(回答数:406名)

- 回答者の性別は、男性が54.4%、女性が42.6%であった。年代は40歳代が26.4%と最も多く、次に50歳代、60歳代の順に回答者の割合が高くなっている。

#### ■ 駅北エリアの来訪頻度及び平均滞在時間

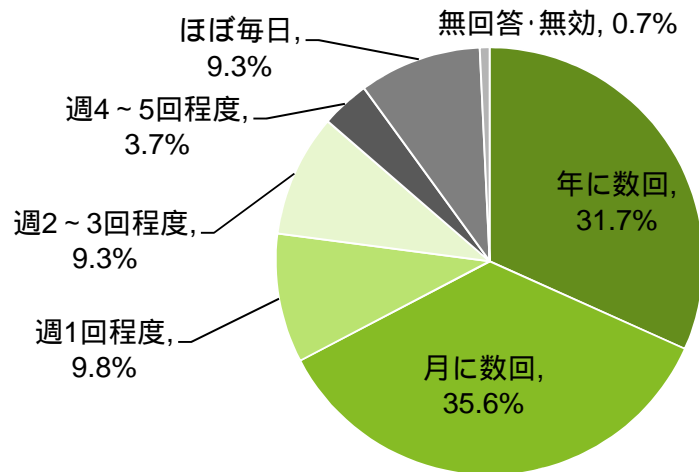
- 駅北エリアを来訪する頻度は、月に数回との回答が35.6%と最も多く、次に年に数回という回答が31.7%となっている。
- 来訪1回あたりの滞在時間は30分未満との回答が42.6%と最も多く、次に30分以上1時間未満との回答が26.6%となっている。
- 交通手段は多くが自家用車で来ており、来訪目的は177人が銀行・郵便局・理容などのサービス利用が最も多く、次に飲食が155人、買い物が100人となっている。
- 回答者は、飲食店や小売店などの商業機能、物産機能、レクリエーション機能が駅北エリアに加わった場合に来街頻度が増えると思うと回答している。
- 商業機能や物産機能、レクリエーション機能、子育て世代を支援する機能が駅北エリアに加わった場合に、まちのにぎわいに寄与すると思うと回答している。
- アンケート結果から、駅北エリアへの来訪は、月または年に数回程度が全体の約65%を占めており、30分以内の短時間かつ郵便局・銀行などの来訪目的が多い状況である。
- 自由意見では、駅北エリアを利用する前提条件として、駐車場の整備を挙げる意見を多く受領した。

## 2.- 来訪者や生活者の現況・ニーズ調査(アンケート調査)(4)

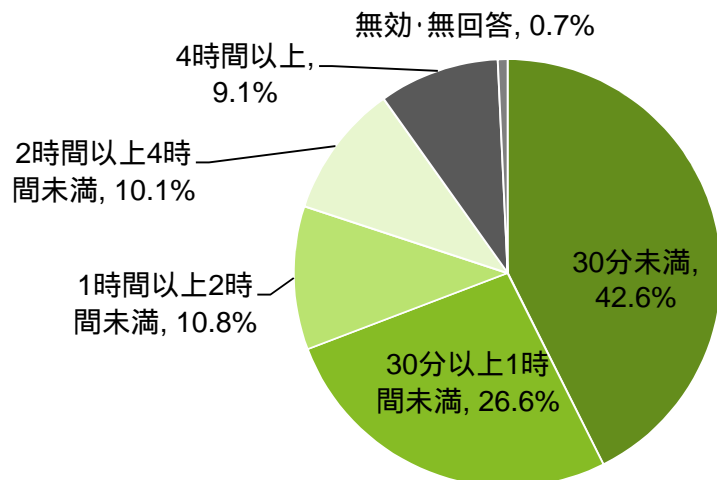
駅北エリアには月または年に数回程度来街するとの回答が約65%を占めており、主な来訪の目的は銀行・郵便局等が最も多く、次に飲食、買い物の順となっています

### 回答内容(問2)

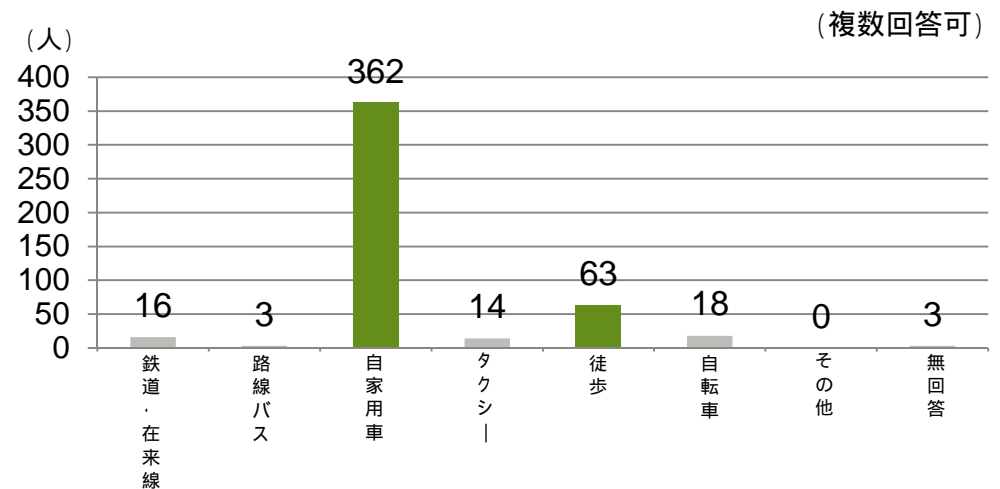
#### ■ 来街頻度



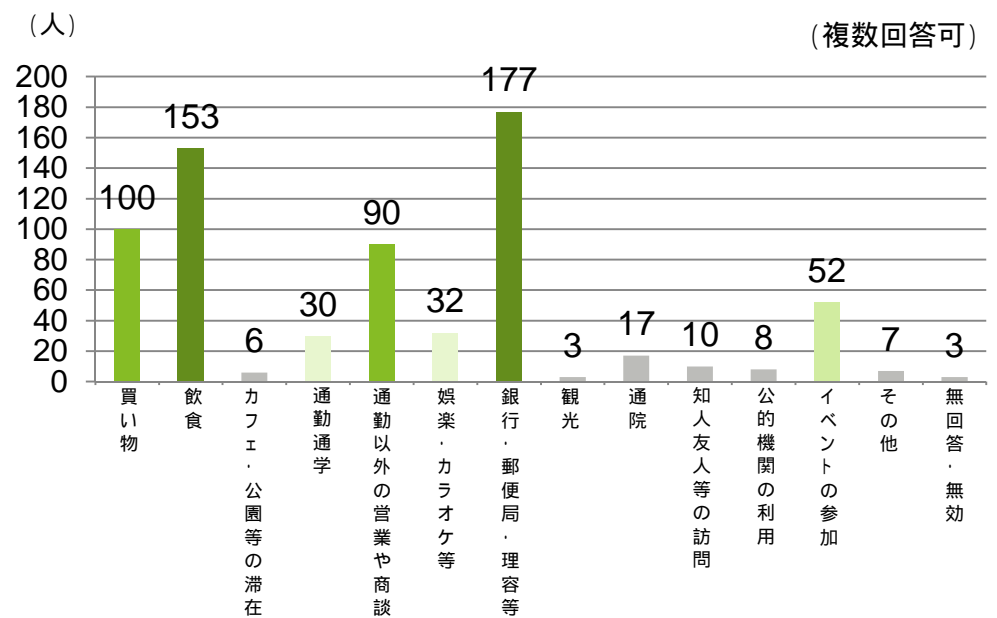
#### ■ 来街1回あたり平均滞在時間



#### ■ 交通手段



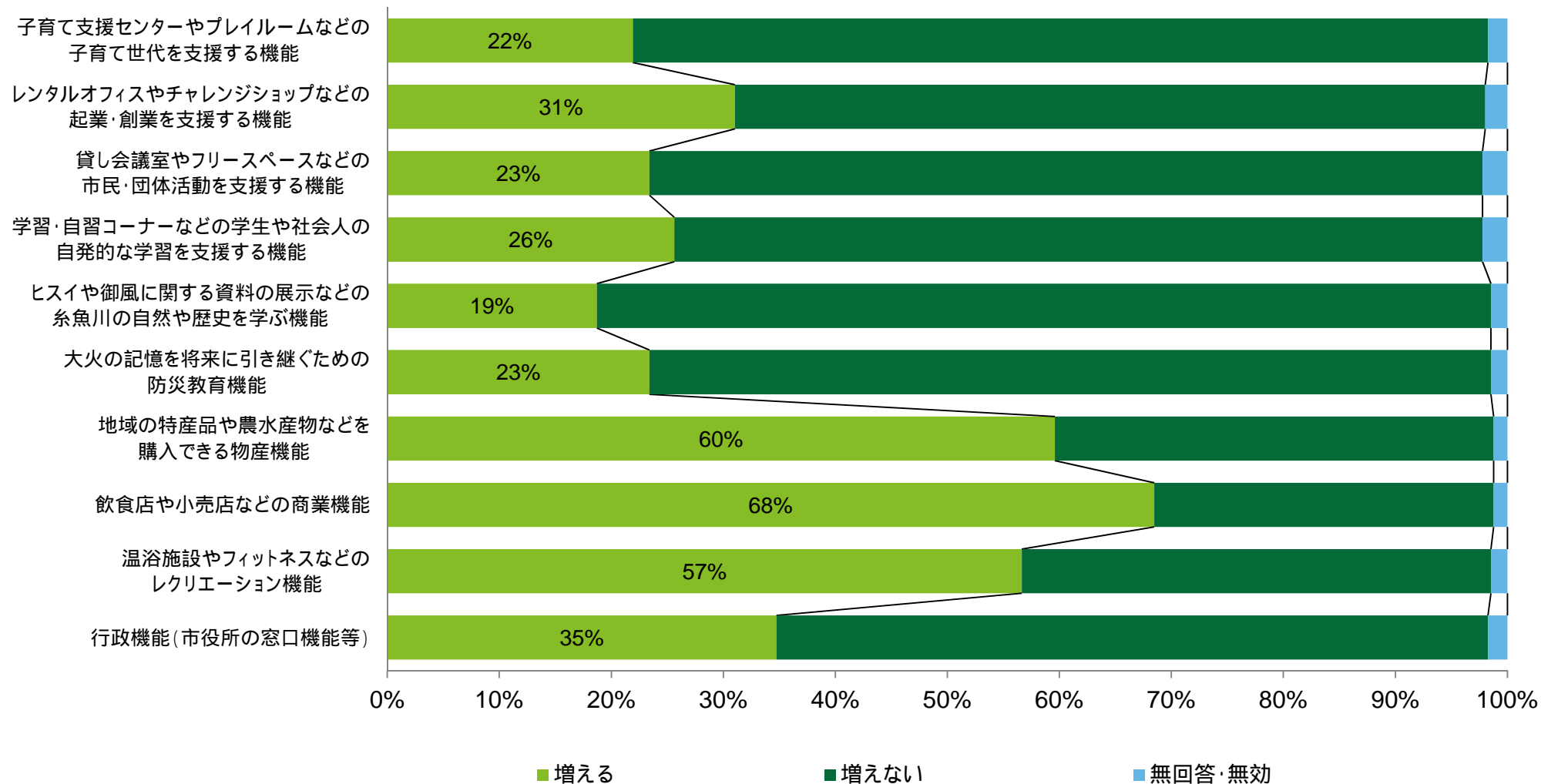
#### ■ 主な来訪目的



## 駅北エリアに飲食店や小売店などの商業機能や物産機能、レクリエーション機能が加わった場合に来街頻度が増えると回答した方の割合が高くなっています

### 回答内容(問3)

■ 駅北エリアに次の ~ の機能が加わった場合、あなた御自身の来街頻度は増えると思いますか

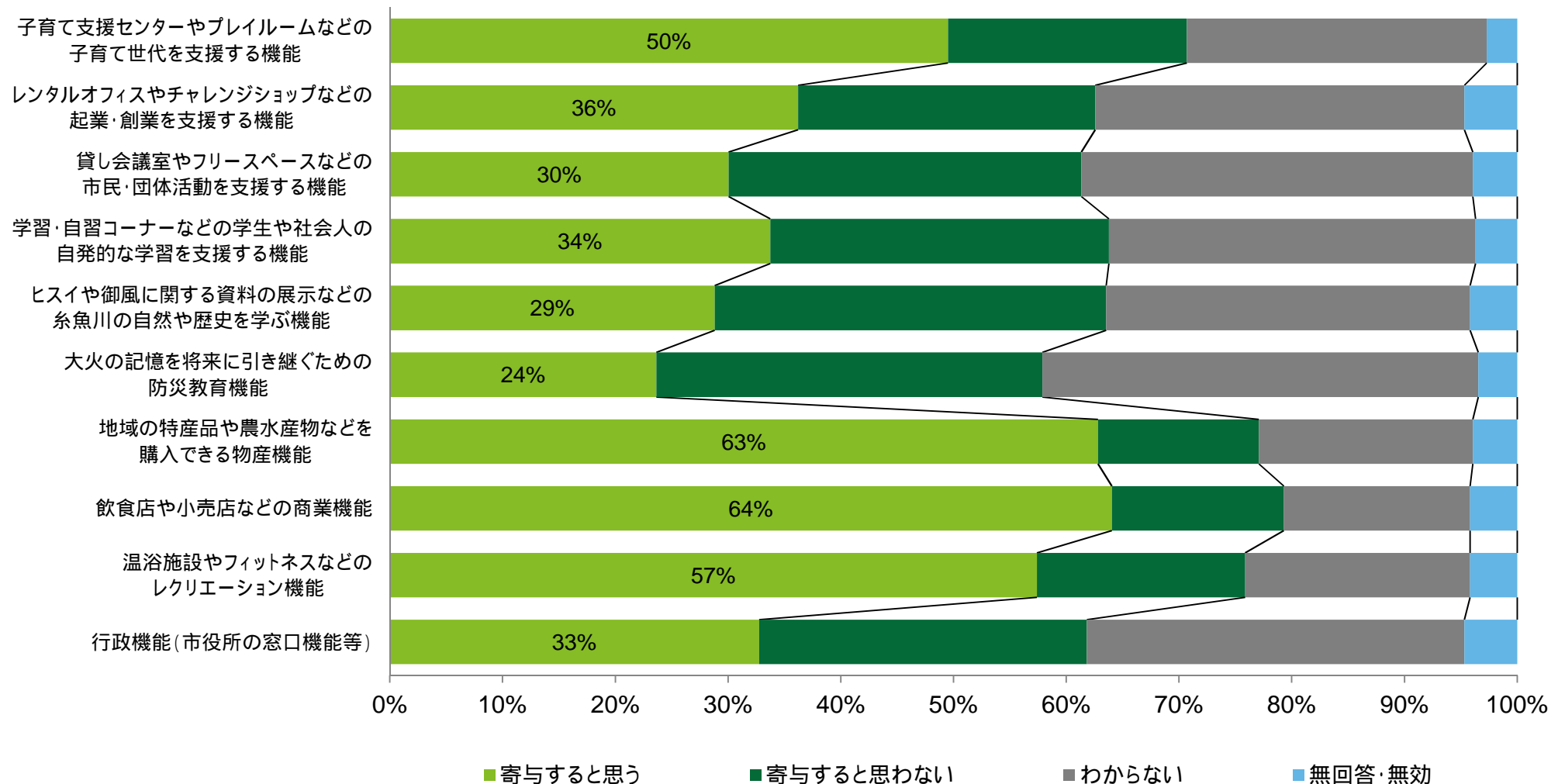


## 2.- 来訪者や生活者の現況・ニーズ調査(アンケート調査)(6)

# 駅北エリアに商業機能や物産機能、レクリエーション機能、子育て世代を支援する機能が加わった場合にまちのにぎわいに寄与すると思うとの割合が高くなっています

### 回答内容(問3)

■ 駅北エリアに次の ~ の機能が加わった場合、まちのにぎわい創出に寄与すると思いますか



## 「ほしい機能」として、大規模な商業施設や娯楽施設に対するニーズが高いですが、駅北エリアを利用する前提条件として駐車場の整備をあげる意見が多くあります

### 自由意見に関する主な回答

#### 駐車場整備に関する主な意見

- 駅前には駐車できるスペースが少ないので、大型の無料駐車場などがあれば駅前周辺の店舗の利用客も増加すると考えます。
- どんな施設を増やすにしても、まず、駐車場が必須だと思います。車を置く場所がないと地元の間人は行きません。
- 何をやるにも今は車です。駐車場の確保ができなければ人は呼べないと思います。
- まず駐車場が必要だと思います。駐車場がないから駅北へいけないという人もいました。
- 糸魚川は車が必須ですが、駅前には駐車場が少ないと感じる。
- 公共移動手段がないに等しい中での移動は、やはり車での移動となります。駐車場がない施設へは出かけられません。
- 駐車場がなくていつも困ります。飲食店も小売店もどこに行くにも自家用車なので、駐車場を作ってください。土日は駅南の駐車場は満車でイベントや駅利用にも困っています。
- 気軽に車を止められる場所がない。ヒスイ王国館は不便。とにかく街なかに駐車場を作るべき。
- 市内に買い物へ出ようと思ったときは必ず車を使用している。駅北に用があったとしても車を置いておける駐車場が少ないのではないのか。夜間には駅北エリアの各銀行や民間企業所有の土地、駐車場を各人の“厚意”で貸しあうことでなんとか駐車スペースをまかなえるという現状に問題はないのか。

## 「にぎわい」の受け止めについて、市民の暮らしを優先する意見と、市外から人を呼び込む必要があるとする意見に分かれています

### 自由意見に関する主な回答

#### にぎわい創出に関する主な意見

- 観光に特化するのではなく、市民が生活しやすい(それなりの規模の店舗、交通アクセスの変更)町にしてほしい。生活しやすければ移住する人も増えるかも。
- 人口減少が進む中、「市民の集い」のほかに「市外、県外からの集客」をターゲットとした企画、施設、商品の展開が重要と思います。
- 家賃の低い住宅を作るなど“にぎわい”よりも“安心”を重視した地域づくりにしていただきたいです。
- 市内居住者だけではにぎわい創出は難しいのが実情かと思います。また、人が回遊(面を歩く)するまちづくりが必要だと思います。
- 市民だけが利用する建築物を増やさず、市民、近県の方、新幹線を利用してくる方が時間をすごせる商業施設、物産展が増えたらいいなと思います。
- 「にぎわい」ありきのまちづくりではなく、利便性や機能性を高めた仕組みづくりが咲きにあるべきで、市民や観光客が求める仕組みを先につくり、それに見合った機能、施設をつくる。ニーズを満たせば自然と人は集まり、結果「にぎわい」が生まれるのではないかと。そこに住む人、利用する人が満足できる街であれば必ずしも「にぎわい」は必要ではないと思う。
- 人口減少の中で「にぎわい」を創出するというのであれば、外から人を呼ばなければならないと思います。週末は近県から多くの県外ナンバーの車を見ます。
- 市外からの来訪者は新幹線の駅ができて飛躍的に増えてはいない。やはり、市内在住の人々が集まるための施設を作ることが重要だと思う。
- 住みよいまちづくりとにぎわい創出のまちづくりを一緒に進めるには無理があるのではないかと。まずは、市民が住みよいまち、働く場所の確保で人口流出を止める。
- 市外、県外、海外の集客ができないとにぎわいの創出は難しいと思う。
- 周辺に住む人にとって暮らしやすい街(プライバシー、騒音etc)であり、エリア外からは、一度だけでなく何度も足を運びたい工夫が必要(定期的なイベントetc)。人が人を呼ぶ。
- 目玉になる施設を中心に人が集まれる場所、観光客も地元の住民も利用できる場所があれば、そこからどんどん街づくりが進むような気がする。





**【参考資料】**

**来訪者や生活者の現況・ニーズ調査  
(Web調査:200名に実施)**

# 回答者の年代は40代が全体の約35%と最も多く、次に50代、60代の順に回答割合が高くなっています

## Web調査の概要及び属性情報

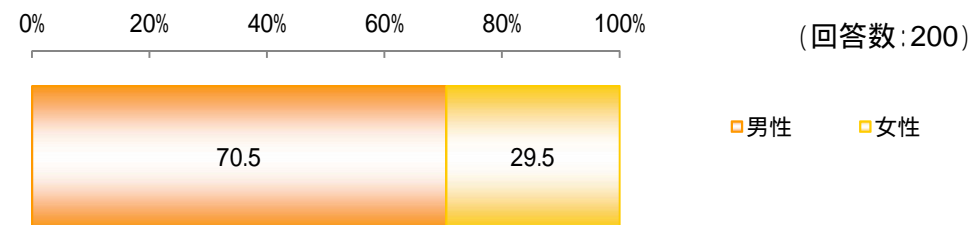
■ 調査期間： 平成29年12月28日～平成30年1月8日

■ 調査方法： Web調査

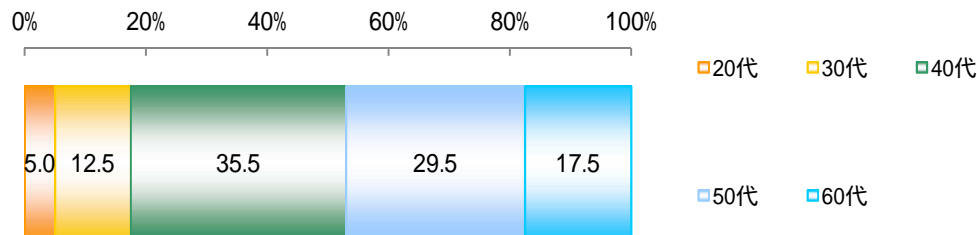
■ 調査対象： 過去に糸魚川市を訪れたことがある方

■ 回答数： 200名

### ■ 回答者の性別

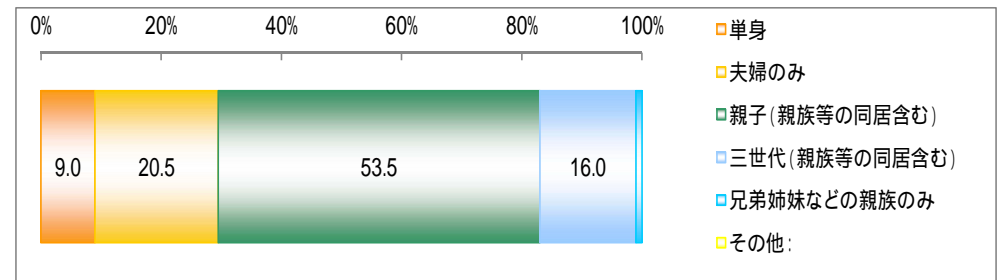


### ■ 回答者の年代



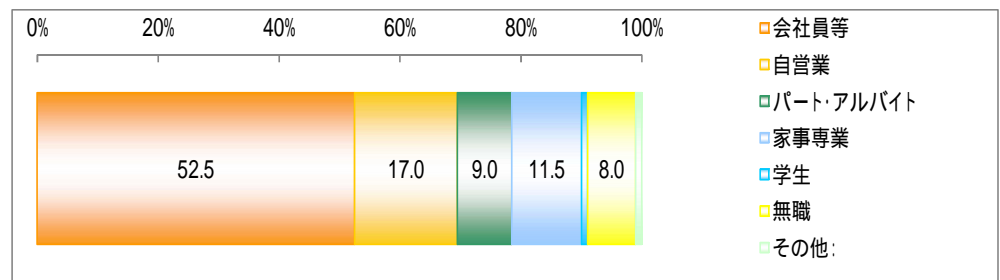
### ■ 世帯構成

(回答数:200)



### ■ 職業

(回答数:200)



## 多くの来訪者が糸魚川駅前を訪れたことがなく、市民を含め駅前に来訪するきっかけづくりや滞在時間の延長が課題となっています

### Web調査の結果のまとめ

#### ■ 回答者の属性(回答数:200名)

- 回答者の性別は、男性が70.5%、女性が29.5%であった。年代は40歳代が35.5%と最も多く、次に50歳代、60歳代の順に回答者の割合が高くなっている。

#### ■ 糸魚川市への来訪頻度及び平均滞在時間

- 糸魚川市への来訪頻度は、過去1度だけとの回答が約46%と最も多く、訪れた目的について約60%が観光と回答としている。
- 滞在時間は4時間以内との回答が約70%程度となっており、訪れる際の交通手段は、約90%が自家用車を使用している。
- 糸魚川市と聞いて魅力に感じるものは、翡翠や海産物、海(海水浴、釣り等)などの回答が多くなっている。

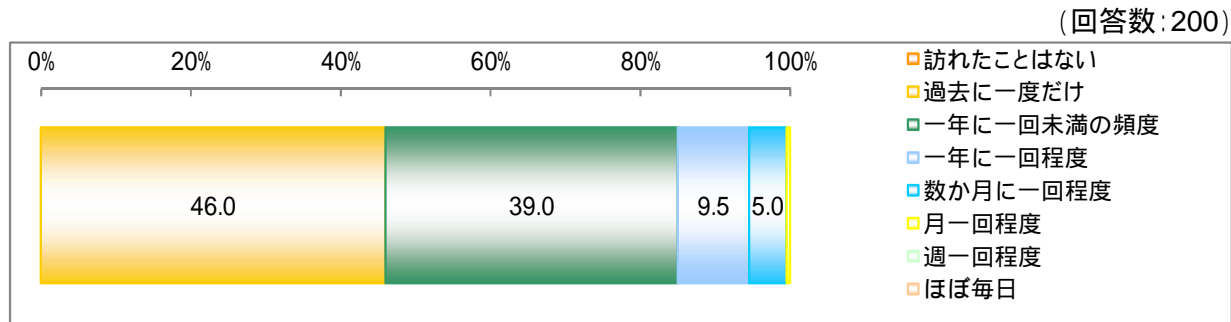
#### ■ 糸魚川駅前への来訪頻度及び平均滞在時間など

- 54.5%が糸魚川駅前を訪れたことがないと回答しており、駅前を訪問した方は、観光を目的とした回答が最も多い。
- 糸魚川駅前への来訪者の約50%程度は滞在時間が1時間以内であり、駅前の印象は新幹線の駅が便利、糸魚川市の顔となる場所との回答が多い。
- ランチが楽しめるような飲食店が充実すればもっと訪れるとの回答が多く、次に駐車場を増やす、魅力的な店舗を増やすとなっている。
- アンケート結果から、来訪者は自家用車を使用して短時間の目的で市内を訪れており、半数程度が駅前を訪れたことがない状況である。

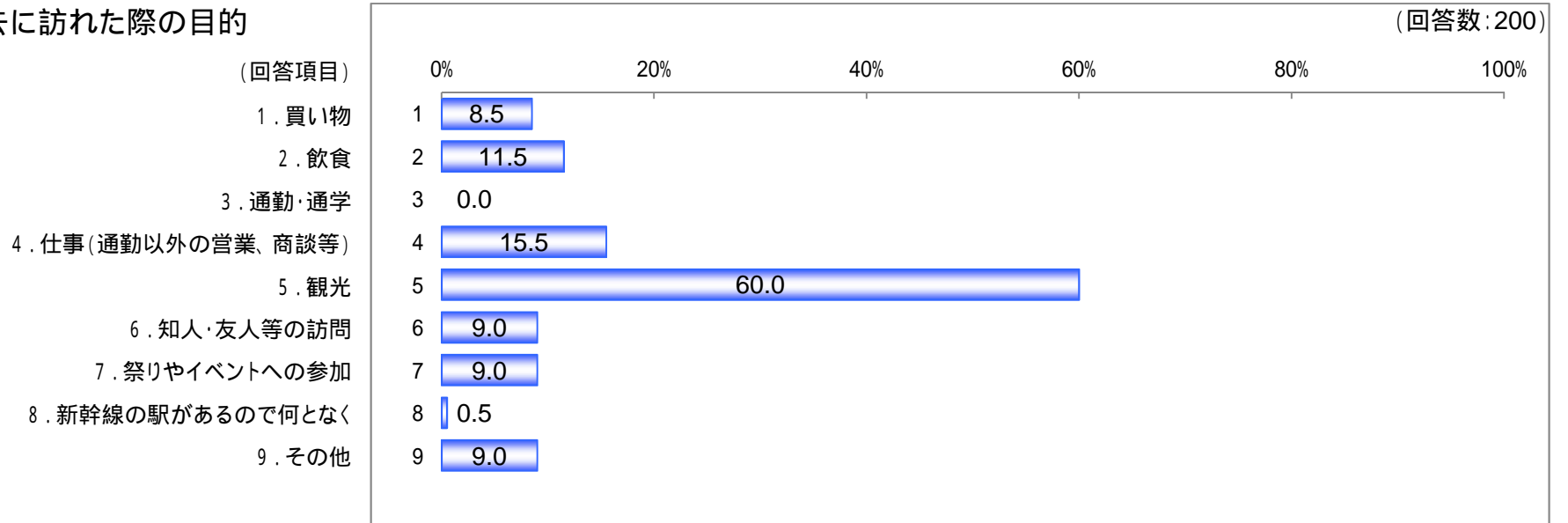
# 糸魚川市への訪問頻度は、過去1度だけとの回答が約46%と最も多く、訪れた目的について約60%の方が観光と回答しています

## 回答内容(糸魚川市について)

### ■ 糸魚川市への訪問頻度



### ■ 糸魚川市へ過去に訪れた際の目的

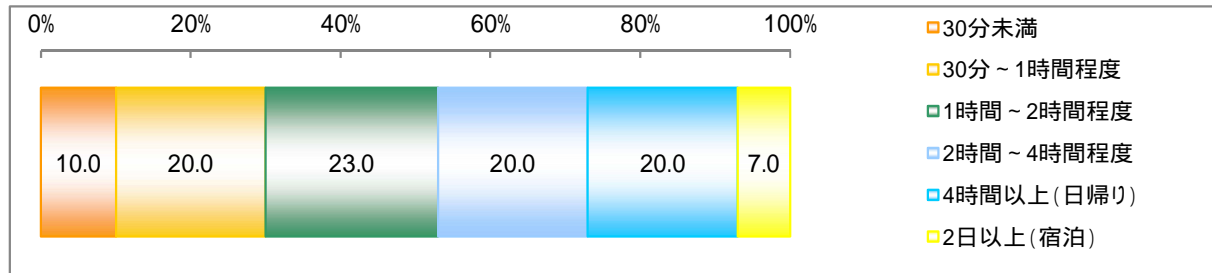


# 市内への滞在時間は4時間以内との回答が全体の約70%程度となっており、訪れる際の交通手段は、約90%が自家用車を使用しています

## 回答内容(糸魚川市について)

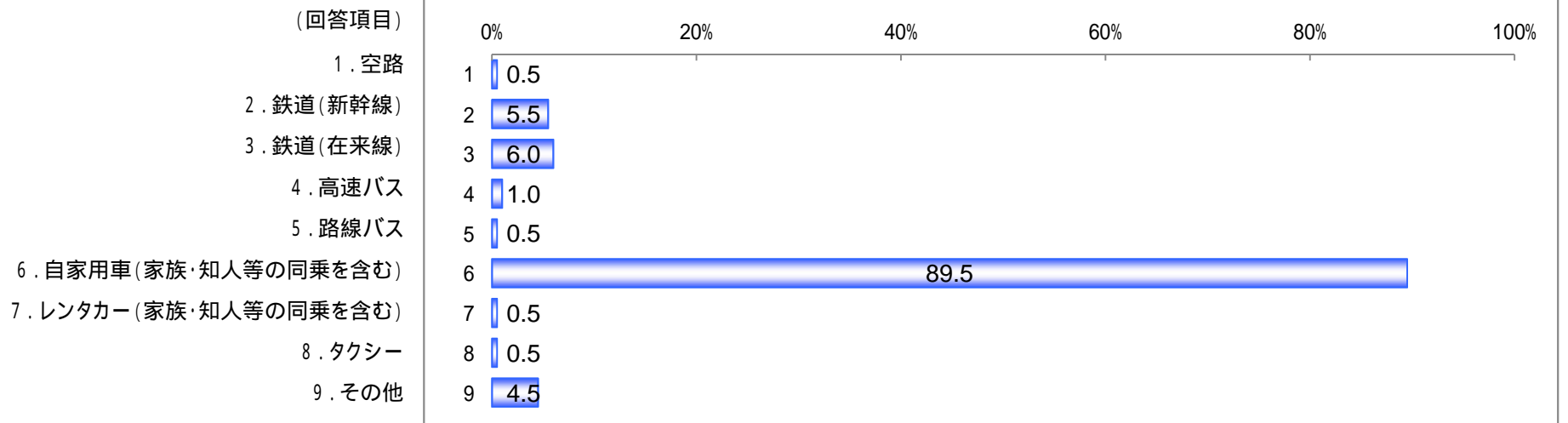
### ■ 糸魚川市への1回の来訪での滞在時間

(回答数:200)



### ■ 糸魚川市へ訪れる際の交通手段

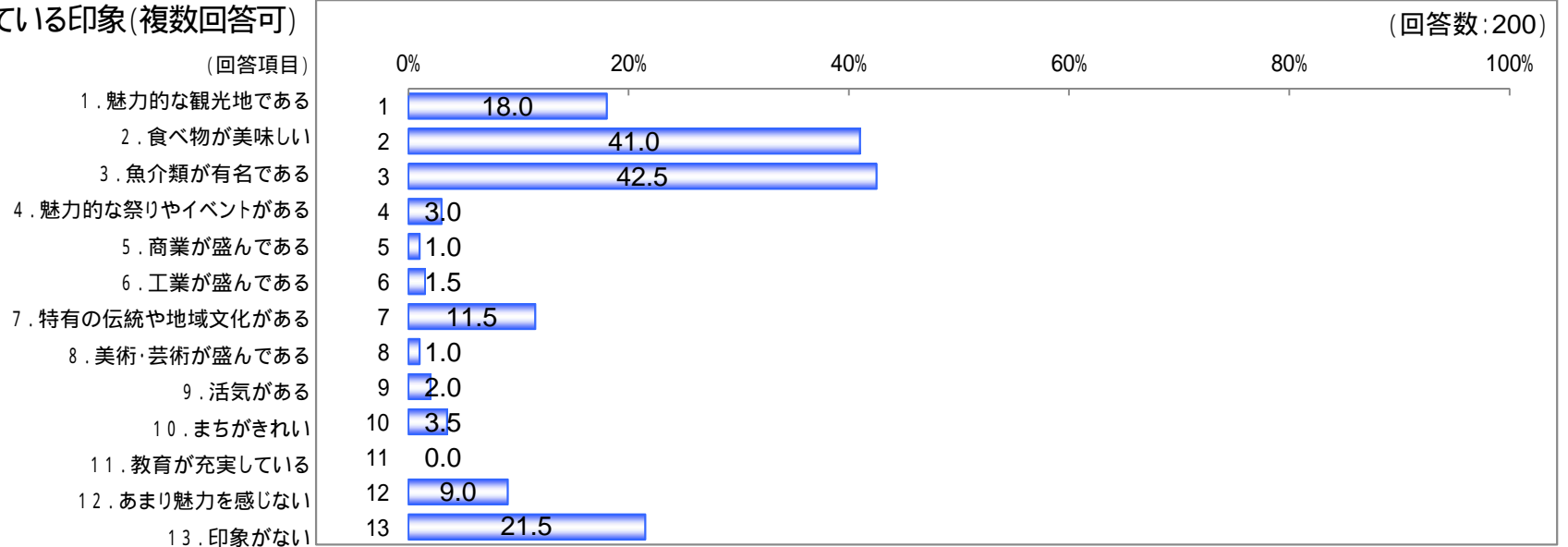
(回答数:200)



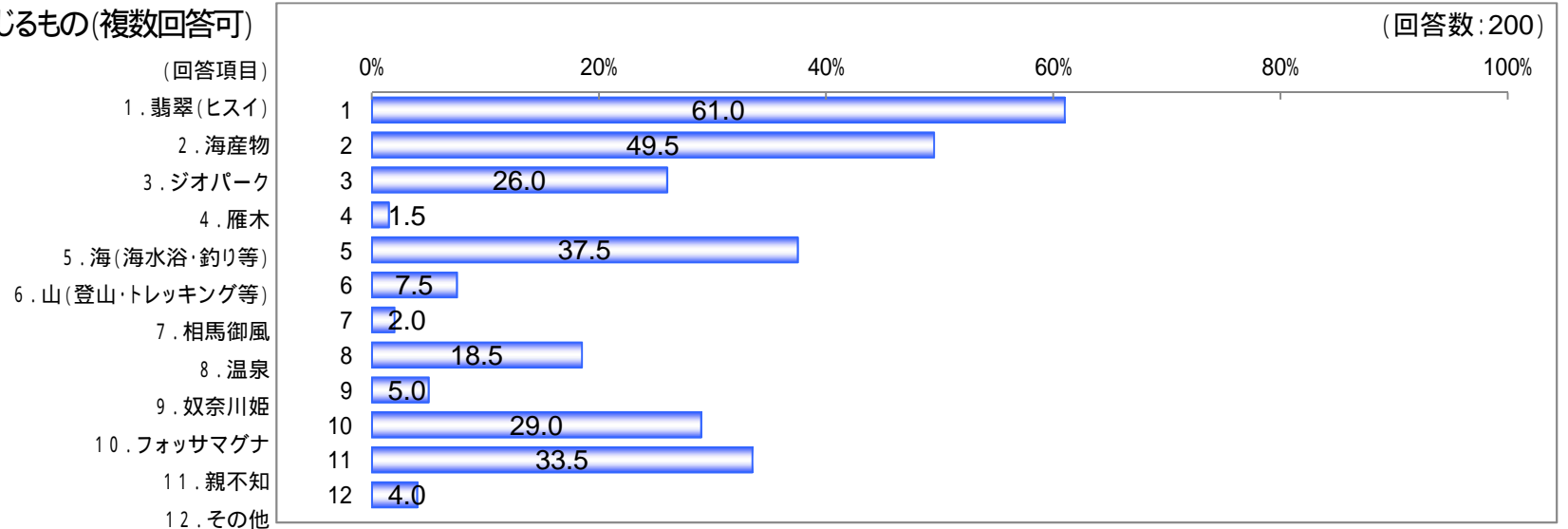
# 糸魚川市と聞いて魅力を感じるものは、翡翠や海産物、海(海水浴、釣り等)などの回答が多くなっています

## 回答内容(糸魚川市について)

### ■ 糸魚川市に対して持っている印象(複数回答可)



### ■ 糸魚川市と聞いて魅力を感じるもの(複数回答可)

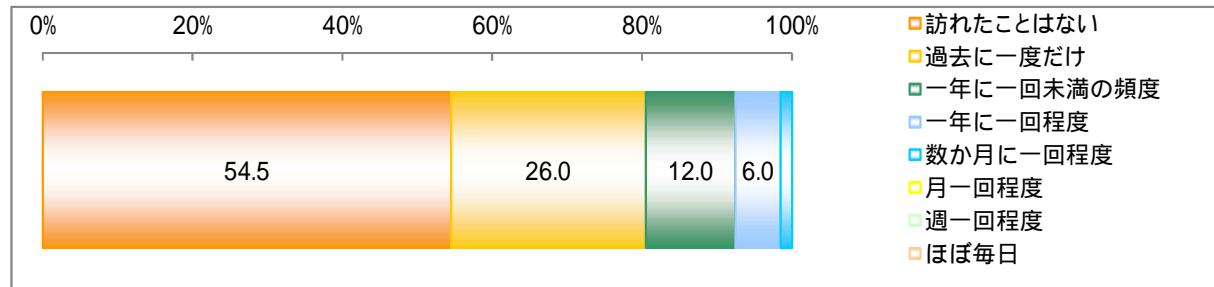


# 糸魚川駅前には半数の方が訪れたことがないと回答しており、駅前を訪問された方のうち観光を目的として来訪されている方が最も多くなっています

## 回答内容(糸魚川駅前について)

### ■ 糸魚川駅前を訪れる頻度

(回答数:200)

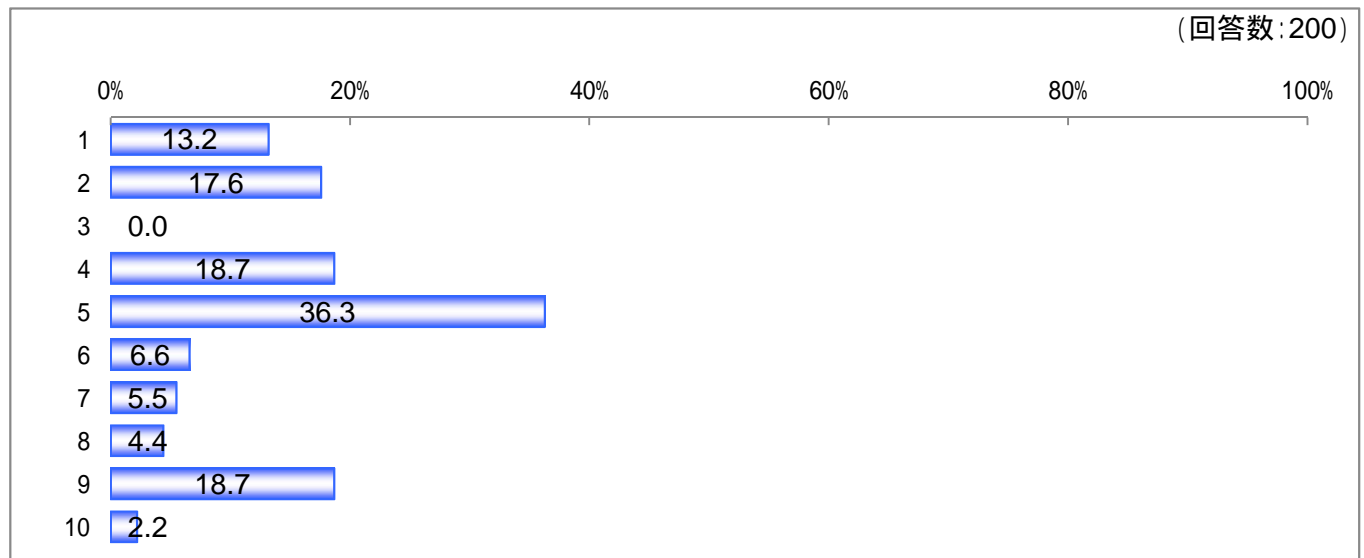


### ■ 糸魚川駅前へ過去に訪れた際の目的

(回答項目)

1. 買い物
2. 飲食
3. 通勤・通学
4. 仕事(通勤以外の営業、商談等)
5. 観光
6. 知人・友人等の訪問
7. 祭りやイベントへの参加
8. 新幹線の利用
9. 特に目的はない
10. その他

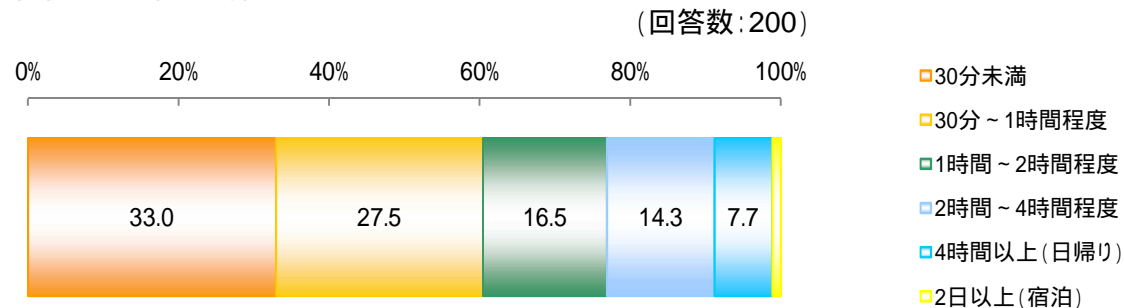
(回答数:200)



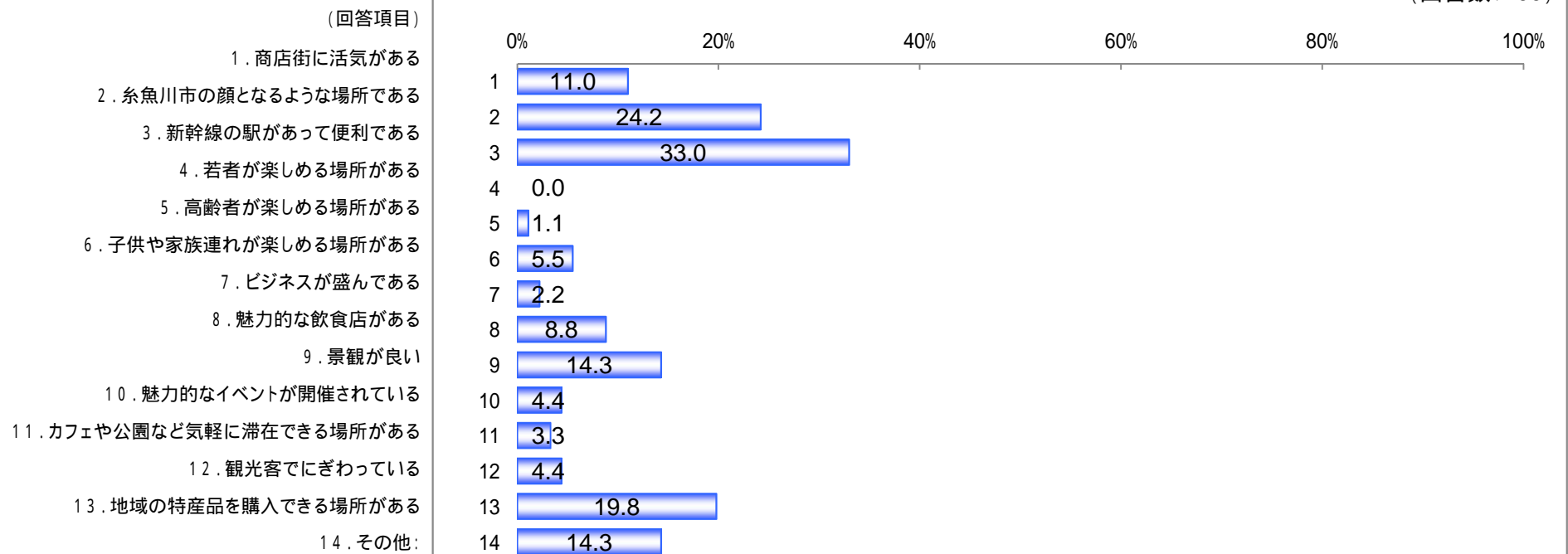
# 糸魚川駅前への来訪者の半数程度は滞在時間が1時間以内であり、駅前の印象は新幹線の駅が便利、糸魚川市の顔となる場所との回答が多くなっています

## 回答内容(糸魚川駅前について)

### ■ 糸魚川市駅前への1回の来訪での滞在時間



### ■ 糸魚川駅前に対して持っている印象(複数回答可)





# 糸魚川駅前には、ランチが楽しめるような飲食店が充実すればもっと訪れるとの回答が最も多く、駐車場を増やす、魅力的な店舗を増やすとの回答が続きます

## 回答内容(糸魚川駅前について)

### ■ 糸魚川駅前でどのような点が充実すればもっと訪れるようになるか(3つまで回答)

(回答数:200)

- (回答項目)
1. ランチが楽しめる飲食店を増やす
  2. デイナーが楽しめる飲食店を増やす
  3. 安心して滞在できるカフェや公園を増やす
  4. 魅力的な店舗を増やす
  5. 気軽に楽しめるイベントを増やす
  6. 駐車場を増やす
  7. 地元の特産品を購入できる施設をつくる
  8. フィットネス等、健康づくりのための施設をつくる
  9. 地域の伝統や文化を体感できる施設をつくる
  10. 雁木などの伝統・文化が感じられる街並みにする
  11. 市内の観光スポットから(へ)のアクセスをよくする
  12. ヒスイやフォッサマグナ等の自然を体感できる施設をつくる
  13. 街歩きのための案内や地図をつくる
  14. その他

